

## “ふじのくに”士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	6	事業名	戦略物流ビジョン推進事業費
------	---	-----	---------------

### 1 基本情報

実施日／班名	10月13日 第2班	時 間	10:15～11:19
担当課名	企画広報部地域政策課	事業費	12,000千円

### 2 判定結果

結 果		県民評価者 判定内訳(人)			
県の関与必要 (見直し・縮小)	判定区分	県の関与不要	4		
		県の関与必要	27	見直し・縮小	23
				現 行・拡充	4
	判定理由	結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由（人、複数回答有）			
		県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき			18
		事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき			9
効果がない、低い、不明確なため、事業内容を見直すべき			7		
民間委託を進めるべき			5		
他の事業との関係を整理すべき			3		

### 3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

#### 【県の関与不要】

- ・道路整備により商業施設が出来、住宅が増えてきています。防災の関係部署と協力して、地域づくりを中心に考えて見直してほしいです。
- ・住民と話し合っ進めていくものであり、物流拠点を核とした地域モデルは作る必要ないのでは。
- ・災害時の拠点整備と「ものづくり」は、切り離して考えた方が良いのでは？ 県として、災害時の拠点整備は非常に大事だと考えるが、「ものづくり」に関しては、市町村主体で実施したほうがより効果的ではないか。
- ・フォーラムを実施するなら、明確にするべき(対象など)。フォーラムで意見集約し、課題設定して次に活かすべき。
- ・戦略物流ビジョンの推進体制はとても評価できるが、県民としてのメリットが伝わらない。フォーラムに行っても県民が対象ではない気がし、目に留まらない。参加者が県民ではない。企業間で行うべきだと思う。また、県、市町が一緒に行動する方が先ではないか。企業間の意見交換の場であるならば、1回全体で行うだけでいい。ただし、災害等における物流の取組は行うべきであり、それは危機管理部で行えば良い。
- ・市町村が中心となって今いろんな取組をされていると思いますし、その中で県としたらやっぱり見守って、地場産業が育つような形を作っていけたらいいのではないか。
- ・戦略物流ビジョンの推進体制は非常に評価できるが、しかしながらフォーラムをやっている中で、何をしたいのか。実際に意見交換はしていると思うが、参考として記載されている中で、ただアンケートと

ということで数字の羅列だけされても分からない。どんな意見が出ているのかというところで、その意見を次の課題設定としてやっていただければ、また広がりを見せるのではないか。

#### 【県の関与必要（見直し・縮小）】

- ・「物流機能の発展で新たな地域づくり」→発展だけがすべてではないと思う。現状維持(古さを生かした観光との関係)も大事だと思われる。最終的には企業の発展だけになるのではなく、雇用の確保、自然の保存、物流の効率化を求めます。
- ・物流ビジョンに県予算をかけ経済効果があるのか疑問。県内企業の要望は良いが、消費者としては本当に暮らしが良くなるとは思えない。県民としては、災害時しか役立たないと思います。物流は、空港がある中央の住民は活性化しようだが、東部地域は空港のアクセスも少なく期待できない。
- ・市町村が主導で行うが、県も関与する。
- ・東西の流れの他に金谷から新東名－東名－空港－御前崎港をつなぐ道路の整備をして物流の効率化を行って欲しい。トラックによる運送だけでなく鉄道を利用してはどうか？清水辺りでコンテナを鉄道に載せられる施設を作っては？
- ・環境に対することをもう少し考えていただきたい。
- ・物流は県民の生活・産業の発展に必要なものであるが、県が掲げている事業内容である①フォーラムの開催がどのように効果があるのか疑問である。効果のある内容方法を検討すべきと思う。②地域づくりについては、市町・企業の意見をくみ上げる立場で進めていくべきと思う。
- ・災害時における物流対策は非常に重要なことと思う。今後も検討、推進してほしい。
- ・成果指標はもう少し具体的にしたい方がわかりやすい
- ・せっかく開通した新東名です。IC付近は、物流等の拠点になって開発が進み、その地域が活性化すると良いと思います。
- ・災害時の対応→沿岸地区がやられるだけでなく、富士山が噴火すれば内陸もやられる。これらから市町単位でなく広く見直すのが良い。物流→公害→本当に使えるかは別として、運搬にEVを使うとか… 新東名ができれば通過されてしまうわけだから、そこも考えてほしい。TVで見ていると実際は内陸があまり活用できていないというか、やはり通過されているのではないかと別の手法を考える。
- ・物流戦略について、どんな効果を見込んでいるか、理想のあるべき姿が明確でないと思われる。単なる効率化、拡大戦略でなく、この施策を行えばこう変わる、このような効果が出る、というロジックを確立すべきである。静岡県は重要立地地点であるため、物流戦略は重要であると考えている。市町村と連携してコントロールして頂きたい。
- ・静岡県は国の中心に位置します。災害が起きた時など中心になるので、縮小ではなく市町と一緒に進めていくといいと思う。地域を豊かにする原動力となるので、大事な事業だと思います。
- ・交通量が多くなるので、生活する上で危険が大きい。
- ・物流は、企業が中心に動いている部分が多いと思います。県としては、陸、海、空の三拠点を大きく連携する要の役割をしていただきたい。地産地消を進めていくためにも物流の効率化は必要と思いますが、需要と供給のバランスを考えて際限なく発達を考えるのではなく、効率よくやっていただきたい。
- ・土地利用に関しては、構造改革を図ったのに活用されないで遊んでいる土地、これから荒れるだろうと思われる土地の利用(活用)を考えたい。農業従事者の高齢化と後継者問題(物流とは関係ないと思われるが)。物流産業と観光産業の関係強化？→(農産物に関して)
- ・目的をもう少し細分化した中で、目標の優先順位の高いものから対策を実現していき、成果(効果)を確かめながら展開していく方がいいのでは？目的、目標が不明確。まずは災害対策に的を絞ったの事業にしたらいかがなものか？説明が効率化、高度化一辺倒では説得力がない。何のために物流

の効率化が必要なのか？説明がぶれていて明確な根拠がないように思われる。県と市町村と連携して実現する方法を探す方が良いのでは？くらしの豊かさとは、何をもって豊かさというのか？物流の効率化が豊かさにつながるのでしょうか？物に求める豊かさを見直す時代なのでは？人口減の時代に突入し、物があふれすぎている現状を省みてもいいのでは？

- ・南海トラフを想定した災害に対応した仕組みがあっている。
- ・農産物の地域づくり以外でも他産業の地域づくりもあってもいいのではないかと？地域の住民の雇用を重点においた効率化を検討して頂きたい。
- ・企業だけでなくより広く連携を図る努力をすべき。言葉だけの連携に終わらせない。今のままでは地域格差の拡大にもつながる可能性もあるので。考えとしては意義あるものだと思う。物流だけでなく、人の流れからのメリット、災害に強い県づくりとからめていくことを打ち出していくとよいのでは。
- ・①県外企業に対し、参加を呼びかけるべきである。なぜなら、物流は全国ネットワーク型であるため。  
②活動指標(施策)と成果指標がリンクしていない。成果指標は具体的目標とすべきである。
- ・縮小か無しが良いと思う。事業の説明に具体性がないので、目的が見えてこない。県民のための事業だと思えない。物流事業者の意見を聞くと言っていたが、どのような意見を聞いているのか分からない。物流業者は荷扱の量を増やしたいが、この事業をやって物流量は増えるのか？何のための整備か分からない。県民に利益はあるのか？災害拠点は物流とは別に整備すべきだと思う。なんで戦略物流ビジョンの説明で震災の話が出てくるのか？全体的に説明が具体的でないで、必要性が見えてこない。
- ・物流事業者間のフォーラムでは、あまり効果がないと思う。生産者の意見・希望や、道の駅・農の駅・コンビ二等も利用した総合的な県産品振興のための物流のあり方も検討して欲しい。(私の住んでいる伊豆地区の交通状況は災害に非常に弱いです。)

#### 【県の関与必要（現行・拡充）】

- ・物流ゾーンを設定して、県民の生活が向上できますようにこの事業をもっとPRすべきと思います。
- ・新東名が開通して間もないので、今後の発展や活用に期待したい。新東名IC付近は土地開発の余地有るか。ただ、県でなくては関われないことがどのような事なのか、必要性がややわからない。(民間や国・市町の方が関わりとして最適で発展につながる事があるなら、見直しすべきこともあるのではないかと)当初の予想より静岡空港の利用が少ないと聞いているが、物流面では活用され、よい効果が見出せているのか？それによっては予算等見直しが必要と思われる。